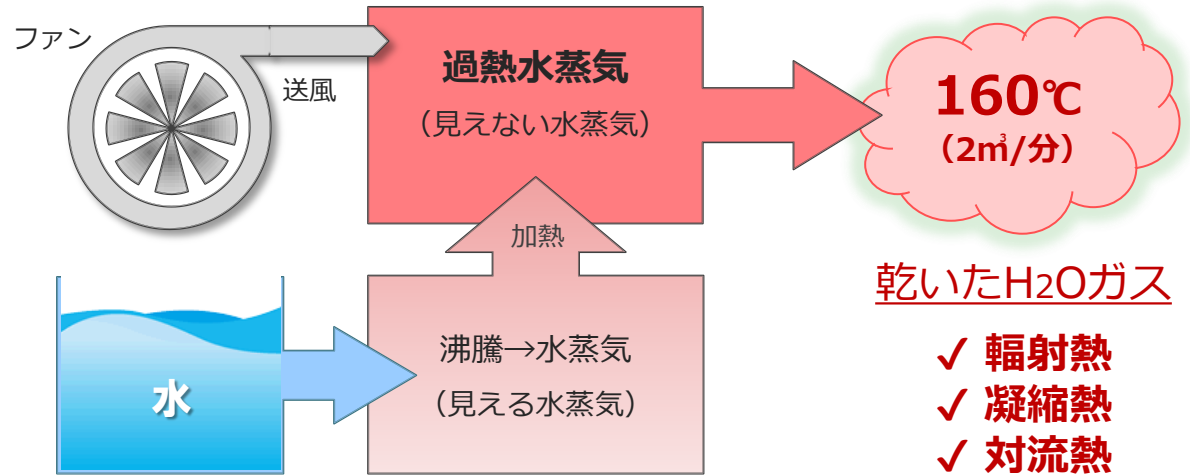




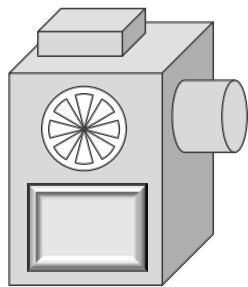
グローヒートファンは、水が沸騰し発生した水蒸気をさらに加熱し見えない水蒸気となった過熱水蒸気を空気と混合して送風します。



1台で **150~200坪** 程度の補助暖房 に対応 (設置条件依存)

既存燃料式加温機 (ボイラー等)

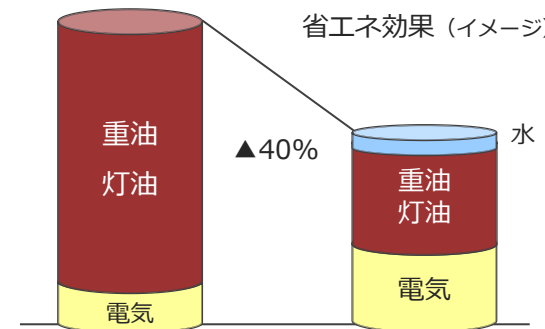
グローヒートファン (GHF)



ボイラー燃料削減

- ✓ 保温効果向上
- ✓ 上下温度差緩和
- ✓ 作物育成促進

省エネ効果 (イメージ)



注) 燃料削減効果は参考値であり保証するものではありません

- ✓ 室内の保温性向上による燃料消費削減
- ✓ ムラの無い熱伝効果 (上下温度差緩和)

- ✓ 遠赤外線による作物等の生育促進効果
- ✓ 排気ダクトなどの付帯設備の設置不要
- ✓ 大規模な設置工事は不要 (電源・水道のみ)

- 利用例 -

いちご



赤ピーマン



トマト



グリーンピーマン



花き



観葉植物



ボイラー燃料大幅削減

☑ 群馬県「菌床しいたけ」



200坪施設にグローヒートファンを1台設置。設置当初は加温ボイラー設定：14℃、グローヒートファン：16℃設定で利用。その後室内状況を見ながらボイラー設定を7℃にまで引き下げることができました。

3年後に50ミリ断熱材を塗布した200坪の新施設ハウスに移動。新施設に移動後は加温ボイラーを使用せずに、グローヒートファンだけで稼働しています。

温度設定を下げ重油消費を削減

☑ 長野県「きゅうり」



加温機の重油使用量はグローヒートファン使用前と比べて3割は減っています。地熱が一度15℃にまで上がると、その後はなかなか下がらない。

以前は農薬を週に一度程度使用していたが、グローヒートファン使用後は月に一度のペースになり、病気の心配が大幅に減りました。

出荷量が1.5倍に増え、B級品が2割ほど減った。今年日照不足の年であったが、出荷率が100%を下回った日は3日だけだった。

保温効果が増して消毒作業が減った

☑ 長野県「花き」



グローヒートファンを設置して三日後には変化が現れ、通常は1月開花の花が11月中に開花し高値で販売することができた。

切り花として毎年2回のサイクルで出荷していたが、年3~4回の出荷が可能となった。

現在は他の暖房機を使用せず、グローヒートファンだけで冬季をまかなうことが出来ている。

カビの発生もなく農薬の使用量が減っています。同じ室内に植えてあった植物の葉に、ワックスをかけたようなツヤがでてきた。

【装置型式】 GF-F4H3

【装置寸法】 幅:550mm

奥:300mm

高:950mm

【装置重量】 約35kg

【使用電源】 三相200V 最大13A

【水消費量】 約1ℓ/時

【定格電力】 3.85kw

【吹出温度】 約160℃



【販売店】

株式会社カーボントレード

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-20 赤坂ロングビーチビル 4F

TEL: 03-5797-7768 FAX: 03-5797-7769

e-mail: info@carbontrade.co.jp <http://www.carbontrade.co.jp/>

製造メーカー: 大倉電機株式会社 (〒398-2234 長野県飯山市木島860)